

江戸で彩る 2010年10月22日(金)～11月9日(火)
Japan Beauty from Edo-Tokyo

第3回 日本橋美人博覧会

主催：日本橋美人博覧会(NPO法人東京中央ネット 日本橋美人推進協議会) 共催・協賛：日本橋地域の名店・企業・ホテルほか
特別後援：中央区 東京商工会議所中央支部 日本江戸クラブ協会ほか 後援：東京都ほか

江戸東京
秋のおすすめ
街めぐり



日本橋美人博覧会 会場 MAP

- 「洗練された仕草」ゾーン
- 「先人からの教訓」ゾーン
- 「江戸っ子の美意識」ゾーン
- 「伝統が培った技」ゾーン

【サテライト会場】

北斎通り(墨田区)、セレスティンホテル(港区)、東京染ものがたり博物館(新宿区)、キヤノンデジタルハウス銀座(中央区)、中央区産業文化展(中央区)



スタンプで完成させる歌麿の浮世絵は「ビードロを吹く女」

3つのラリーで日本橋を満喫

街に賑わいをと期間中には名店、企業、ホテルなどが参加して「日本橋美人商品ラリー」「スウィーツラリー」「スタンプ版浮世絵ラリー」の3つのラリーが設けられる。

山本海苔店や榮太樓總本舗、千足屋総本店など約24店で販売されている「日本橋美人商品」を3点購入すると完成する「日本橋美人商品ラリー」。

「スウィーツラリー」では、会期中に日本橋界隈の様々なお店で提供される「日本橋美人記念スウィーツ」が3店舗で達成。

「優」「知」「粋」「創」の各ゾーンの会場に設置された浮世絵スタンプを重ね押しすることで浮世絵を完成させる「スタンプ版浮世絵ラリー」。こちらは昨年に引き続き、4つのスタンプで歌麿の浮世絵を完成させるという、本版の原理も学べるユニークなラリー。

各ラリーは、達成すれば先着順で参加賞がプレゼントされ、さらに応募することで、日本橋の名店からこだわり賞品が当たる、ダブルチャンスも。

会期中はユニークなイベントが盛りだくさん



日本橋界隈和装散策

会期中に、様々な施設や店舗で展開されるイベントは、博覧会の見所。

はじめて日本橋を訪れるという人には「江戸日本橋観光めぐり」事務局が主催する、街歩きイベント「ガイドとめぐる日本橋」がオススメ。日本橋の老舗や博覧会の各会場を、効率よくめぐることができる。その他にも、手漉き和紙の体験講座、伝統工芸入門講座など、日本の伝統文化と美を体感出来る、ワークショップがバリエーション豊かに開催される。

期間中に、2日間に渡って開催される「THE 日本橋美人!～あなたも見返り美人に大変身」と題されたイベントは、普段はなかなか気軽に着られないレンタル着物と、着付け・ヘアメイクまで、なんと無料で体験できるという人気の企画。江戸時代から続く老舗や百貨店が連なる日本橋の街には、和装が良く似合う。この機会に、日頃、着物に触れる機会が無い方も、ぜひ和装にチャレンジし、江戸の粋や美意識を体感しながら「日本橋美人」として、日本橋界隈の散策を楽しんでみてはいかが。



江戸時代の型紙や染色技法、優美な絵柄で染められた東京手描友禅などを展示

「日本橋美人」という言葉も、大美人は「伝統を分定着してきただろうか。美人といっても秋田美人や博多美人のような言葉とは違う。「日本橋美人」は「伝統を身近に感じることにより培われる教養や品格を持ち、心優しく感性が豊かで、真に粋(クール)な「心も身体も美しい」女性」を表すシンボリックなワード。

博覧会場は日本橋地域を「優」「知」「粋」「創」の四つのゾーンに分け、各会場が江戸の文化や美意識をテーマとした展示や、ワークショップなどを幅広く行う。さらに今年は、地域の粋を越えて、都内各所から伝統工芸の匠が集い、技術を実演披露したり「伝統芸能の夕べ」が催されるなど新しい試みも予定され、充実した内容となっている。この秋は、モダンさと江戸情緒が混ざり合い、新たな魅力を発信しているこの街の魅力を体感し、博覧会場をめぐり、日本橋をそぞろ歩いてみたい。

日本橋をめぐり歩く秋。江戸の美意識は今も、身近な街の中に。



古くからの技術を継承しながら進化し続ける伝統工芸の数々を展示

